

平成22年度事業報告書

1. 事業の概況

(1) 研究者育成奨学金支給

2名の公募に対し応募が3名あったが、以前採択された応募者もおり応募書類を慎重に審査の結果1名を採択した。

(200,000円)

(2) 国際研究集会補助

2件の公募に対し応募が7件あったが、応募書類を慎重に審査の結果2件を採用した。

(600,000円)

(3) 学術図書刊行助成

京都大学東南アジア研究所発行学術季刊誌「東南アジア研究」48巻1号～48巻3号の刊行助成。

(85,267円)

(4) APIフェロシップ運営

平成22年度は第10期フェローをインドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナムの各国より計14名受け入れた。

来日フェロー及び日本フェローの参加により、APIセミナーを平成22年4月19日に京都大学東南アジア研究所にて開催した。

また、第11期フェローの募集を行い、平成22年10月30日には国内選考会を東京において開催し、日本からは3名のフェローが選考された。

さらに平成23年3月5日・6日にはコープイン京都にて第11期フェローのオリエンテーション及び国内ワークショップを開催した。各フェローの活動国は、インドネシア、マレーシア、フィリピン及びタイの予定である。

(19,762,560円)

2. 庶務の概要

(1) 平成22年5月24日 第55回理事会・評議員会を京都大学東南アジア研究所において開催した。平成21年度事業報告及び収支計算書、役員人事について審議のうえ、原案どおり承認した。また、今後の財団運営について種々の意見交換があった。

(2) 平成22年7月26日 22年度第1回常務理事会を京都大学東南アジア研究所において開催し、当財団の新公益法人制度における移行形態、事業内容、基本財産、及び、評議員選考委員会の開催等について検討された。

(3) 平成22年10月29日 22年度第2回常務理事会を京都大学東南アジア研究所において開催し、当財団の新公益法人制度への移行スケジュール、事業内容、基本財産の取り崩しについて検討された。
また、移行方針として公益財団法人への移行が決定された。

(4) 平成22年12月8日 最初の評議員選定委員会を京都大学東南アジア研究所において開催し、公益財団法人移行後の最初の評議員6名を選出した。

- (5) 平成23年3月14日 第56回理事会・評議員会を京都大学東南アジア研究所において開催した。平成23年度事業計画及び収支予算書並びに新公益法人制度における移行形態等について審議のうえ、原案どおり承認した。
また、新定款（案）及び内閣府への移行認定申請書（案）を第57回通常総会に諮ることとした。

—以上—